



同窓会会報

発行：獨協埼玉高等学校同窓会 発行人：小久保 博史

〒343-0037 埼玉県越谷市恩間新田寺前316

☎048-977-5441 FAX048-977-2031

URL <http://www.dokkyo-saitama.com/>

令和7年度を迎えて

校長 尾花 信行

同窓生の皆さん、こんにちは。お元気で過ごされていますか。各方面での皆さんのご活躍やご健闘の様子を耳にしては大変うれしく思っています。

この春、獨協埼玉は中学25期生、高校46期生として多くの新入生を迎え、1500名を超える生徒とともに新しい一年をスタートしました。また、それぞれ夢と希望と強い意志を持って巣立った卒業生が新たに同窓会の仲間となりました。本校の卒業生は今や15200人を超えるほど。獨協埼玉との繋がりは、この同窓会を中心に寧ろ卒業後が本番とも言えるかもしれません。

昨年度新たに小久保会長、青木副会長を迎えた同窓会。

今年度もホームカミングやまほろばの会などが行われることと思います。ふるってご参加ください。またこれに限らず、ここ獨協埼玉を皆さんの心の故郷として、折に触れ思い出し、訪ねてきてください。お会いすることを楽しみにしています。

この春、長きにわたり獨協埼玉の教育にご尽力された国語科の安藤先生が退職されました。安藤先生はその細やかな配慮と穏やかな人柄で多くの生徒に慕われてきました。また、教務という学校の日常を支える部署でも多大なる貢献をされ、その主任も務められました。安藤先生お疲れさま。ありがとうございました。また、同じく国語科の堀北先生、英語科の金井先生、杉内先生もご退職されました。生徒への熱き指導、印象に残っていることと思います。皆様のご健康と今後のご活躍をお祈りいたします。

明るいニュースの少ない世界の状況ですが、同窓生の皆さんが獨玉魂を胸にそれぞれ活躍されることを願っています。



同窓会長 小久保 博史

同窓生の皆様、いかがお過ごしでしょうか。同窓会会長の小久保博史です。

この度、同窓会報をお届けする季節となりました。皆様におかれましては、それぞれの分野でご活躍のことと存じます。日頃より同窓会活動にご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

母校獨協埼玉高等学校は、今年で創立46年目を迎えました。これもひとえに、諸先輩方が築き上げてこられた伝統と、現役生の皆さんのたゆまぬ努力の賜物と深く敬

意を表します。私たち同窓生も、母校の発展に寄与できるよう、微力ながら尽力してまいり所存です。

さて、会報では、昨年度の活動報告に加え、恩師からのメッセージなども掲載しております。懐かしい顔ぶれや、新たな情報に触れ、皆様の青春時代が鮮やかに蘇ることを願っております。

同窓会は、世代を超えた交流の場であり、かけがえない絆を育む大切なコミュニティです。今後も、同窓生の皆様が気軽に集い、語り合える機会を提供できるよう、様々な企画を検討してまいります。何卒皆様のご参加を心よりお待ちしております。

同窓生の皆様の益々のご健勝とご活躍を祈念し、会報誌掲載の挨拶とさせていただきます。

獨協埼玉高校
同窓会連絡先〒343-0037 埼玉県越谷市恩間新田寺前316
TEL：048-977-5441/FAX：048-977-2031住所変更・お問い合わせはこちら
(Googleフォームよりご回答下さい)

退職にあたって

昨年度、安藤 聡美先生、金井 菜美子先生、杉内 光成先生、堀北 智仁先生の4名の先生方がご退職されました。

●安藤 聡美先生

皆様こんにちは。ご無沙汰しております。私は本年3月をもちまして退職致しました。36年間勤務しておりましたが、在職中は皆様にお大変お世話になりました。多くの保護者の皆様、生徒の皆さんが思い出されます。また、多くの方々とお仕事をさせていただきました。本当にありがとうございます。また、お知らせ申し上げる機会をここに頂き、感謝しております。

現在は、自分としては大きめの断捨離を敢行中で、まだ落ち着かない毎日を過ごしています。ただ、本は残そうとしているため、根本的な問題点は解決していませんが、ひと段落ついた後は、積読状態の本をできるかぎり読むのが夢です。老眼の深まりとの競争かと思います。

生徒の皆さんには、教科書以外にも様々な本を読んでほしいと思ってきましたが、私もまだこれからと思います。

最後になりましたが、皆様のますますのご健勝と、獨協埼玉中学高等学校のご発展をお祈りしております。いつかまたお目にかかる時を、楽しみにしております。



前列真ん中

●杉内 光成先生

私は獨協埼玉に11年間お世話になりました。振り返ってみると、思い出すのは子どもたちと一緒に英語を勉強した日々、鋭い質問にこちらが勉強させられました。雑談をした休み時間や放課後、年々ジェネレーションギャップを感じるようになりました。クラスで盛り上がった体育祭・文化祭・合唱祭、勝ちにこだわる私に勝ち負け以上に大切なことを教えてくれました。全然寝れなかったけど充実感たっぷりの修学旅行、夜中によく説教しました。10年間中学水泳部の顧問として過ごしたプール、足が攀っても「気のせいだ」と言い聞かせました。1年間だったけど最高に楽し



右から2番目

かった中学女子バスケットボール部、今でもハンドリング練習するくらいバスケにハマりました。国際交流で子どもたちとニュージーランドへ行行ったこと、現地の方だと思われました。職員室での先生方との雑談、コミュニケーションってやっぱり大事だと痛感しました。

去ってみて、卒業生が獨協埼玉に時々遊びにくる気持ちがよく分かりました。獨協埼玉は私にとって教員としての母校です。「またみんなと会いたいな」、そう思わせてくれる学校です。また会いたいなあ…。いや、会いましょう！お互いに成長した姿で！

●堀北 智仁先生

ご無沙汰しております。私は2025年3月までの7年間教員としてお世話になりました。この原稿を執筆している2025年6月現在、新しい環境での生活にもようやく慣れてきたところです。

8年前の採用試験で、教員としての経験も知識も未熟だった私を採用し、教員として育ててくださった獨協埼玉には、感謝の念でいっぱいです。在職した7年間は、私にとってかけがえのない、貴重な経験の連続でした。生徒との接し方や適切な課題の量など基本的なことにとどまらず、学校全体の組織論的な視点、職場全体を俯瞰し支え合う姿勢といった多岐にわたる学びを得ることができました。

私が獨協埼玉に勤務した7年間は、年号が平成から令和へと変わり、社会状況もコロナを挟んで大きく変革した激動の時代でした。しかし、獨協埼玉は、そのような変化の波に應ずることなく、常に新しいものを取り入れていこうとするエネルギーに満ち溢れていました。GoogleClassroom、オンライン授業の迅速な導入、新たな学校生活の模索など、積極的に時代を切り拓いていく学校から創造と開拓の精神を強く感じました。

また、獨協埼玉で出会った生徒、そして保護者の皆様ど



退職にあたって

の方も温かく、その温かさに何度も救われました。学年教員として6年間見守ることができた43期生（中山学年）や、一緒に体を動かした中学男子バレー部。その他にも、日々の授業や自習監督、廊下の挨拶など、様々な場面で関わった数多くの生徒や卒業生からも、さまざまなことを学ばせていただきました。獨協埼玉の生徒たちには、これからは信愛の気持ちを大切に、助け合いながら豊かな人生を歩んでほしいと思います。

最後になりますが、20代後半から30代前半という教員生活の序盤を獨協埼玉で過ごすことができたのは、本当に幸せなことでした。獨協埼玉で得た経験、学び、そして出会

いは、かけがえのない宝物です。今後、同窓会や何かの折にまた会えることを楽しみにしています。



右から2番目

部活動紹介



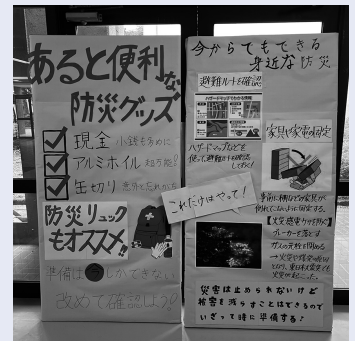
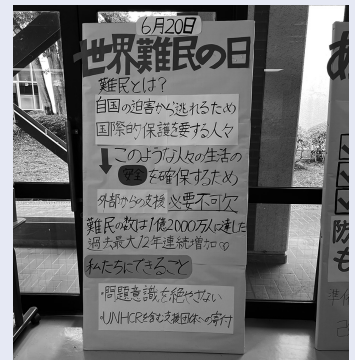
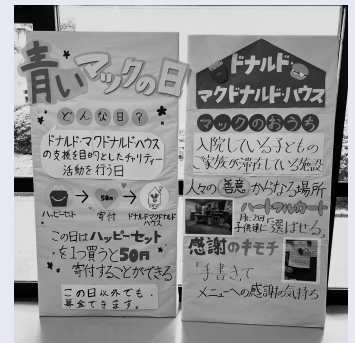
私が獨協埼玉高校に勤務してから30年が経ちました。その間、インターアクト同好会は越谷北ロータリークラブの皆様による温かいご支援のもと、ボランティアや国際交流を中心に活動を続けてきました。

一見、他の部活動に比べ目立たない存在かもしれませんが、これまでの歩みを振り返ると、その活動の幅は実に多岐にわたります。地域の方々と一緒にいった清掃活動、フリースクールに通う年代の学生を本校に招いての交流、近隣の幼稚園を定期的に訪れて園児たちと触れ合う活動、さらには盲導犬センターを訪問し、文化祭に盲導犬ユーザーを招いた取り組みなどがありました。また、韓国の高校生との交流をきっかけに、生徒の発案で土曜の放課後に韓国語講座を開くなど、新たな国際交流の形も生まれました。こうした取り組みはすべて、生徒たちの

「やってみたい」という思いを大切にしながら、社会とのつながりを実感できる場となっています。今年で4年目となる「世界難民の日」（6月20日）の啓発活動では、校内にパネルを展示し、生徒たちが思いを発信しています。また、昨年度からは「ドナルド・マクドナルド・ハウスさいたま」への支援も始まり、募金の呼びかけに加えて、支援の大切さを伝える取り組みも行っています。

こうした活動を通じて、生徒たちは「自分にもできることがある」と気づき、日々成長していきます。3年間という短い高校生活の中で、人のために何ができるかを考え、行動に移していく姿を間近で見られるのは、私にとって大きな喜びです。今後も、インターアクトの活動が生徒たちの視野を広げ、人としての成長を支える場であり続けることを願っています。

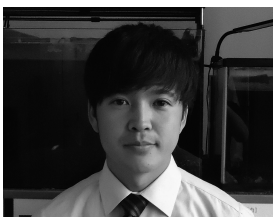
顧問 瀬戸てるみ



新しい風

新任教員紹介

今年度より、新たに1名の教員が着任いたしました。



北島 翔汰
（英語科）

獨協埼玉の未来と過去が交差する2日間！

第45回 蛙鳴祭

出展テーマ

TIME TRAVEL



公開日時：

2025年9月13日（土）

・ 14日（日）

9時30分～14時30分

誕生！

蛙鳴祭公式キャラクター「じゃぼるん」

今年の蛙鳴祭のテーマは「タイムトラベル」に決定しました！各団体の世界観にご注目ください。

新キャラクター「じゃぼるん」も校内に登場しますので、ぜひ探してみてください。

ポイントラリーも実施！出展を巡ってポイントを集め、蛙鳴祭グッズと交換できます。

ご来場には公式LINEからの事前登録が必要です。前日までの登録で50ポイント進呈！詳しくは特設サイトへ。

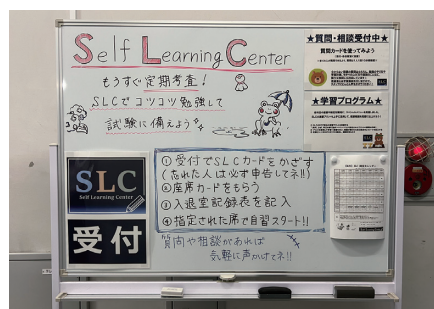
多くの同窓生の皆様とお会いできるのを楽しみにしています。



蛙鳴祭特設ウェブサイト
来場登録もこちらから



ぜひ、もう一度あの校舎へ！



昨年の春から、放課後学習支援サービス『獨協埼玉 SLC (Self Learning Center)』が学校内に設置されました。SLC とは、自学自主習慣の確立とそれに伴う基礎学力の向上を目的とした放課後学習のサポートセンターです。

SLC の自習室ではスマホ・私語禁止で、常駐スタッフおよびチューター講師が常時巡回し、学習環境の整備がされています。分からない問題があれば、部屋の外ですぐに質問することができます。また、演習プリントを自由に印刷して反復学習をすることもできます。自宅などの学校外からのオンライン質問、受験勉強のサポートも行っています。さらに希望者には面談（生徒、保護者）や完全 1 対 1 個別指導なども行っています。

入退室管理システムがあるので、保護者も安心して学習時間の把握ができます。部活動の後に SLC でその日の復習をしてから下校することもでき、学校内で学習を完了することができます。目標実現に向けて、生徒たちが日々活用しています。



スマホで注文 PECOFREE

PECOFREEでスクールランチをもっと楽しく、便利に。

獨協埼玉中学高等学校では、「昼食における利便性向上・負担軽減」を目的として、2025 年 4 月からスクールランチサービス『PECOFREE (ペコフリー)』を導入しました。LINE アプリから簡単に日単位でランチを注文・決済できるサービスです。購入したお弁当は当日の昼までに学校に届き、生徒たちは昼休みにお弁当を受け取ることができます。

校内売店や軽食の自動販売機導入など、生徒たちの昼食の選択肢を広げています。



軽食の自動販売機



給水機

2025 年 2 月 22 日（土）に 39 期生のまほろばの会を開催しました。当日は、依田先生をはじめとする学年の先生方や 130 人以上の 39 期生にご参加いただき、相変わらず騒がしくはありましたが、依田先生学年を感じた懐かしい 2 時間を過ごしました。

獨協埼玉から離れて初めて、先生方の温かさや優しさが当たり前のものではなくて、すごく貴重なものであるという事を嫌というほど感じました。まほろばの会を通して、居心地が良すぎて大好きな獨協埼玉というホームで、卒業してからもみんなと楽しい時間を過ごせたことがとても嬉しかったです。

獨協埼玉で過ごした素敵な時間は私の大きな宝物です。今回のまほろばの会は、生徒だった頃にもう一度戻ることのできたご褒美のような時間でした。

参加していただいた皆様が「いい時間だった、楽しかった」と思っていただけでいたらうれしいなと思います。

開催にあたってご協力いただいた先生方、同窓会の方々、一緒に準備をしてくれたお友達、ご参加いただいた皆様、沢山の方々のおかげで幸せなひとときを作ることができました。

本当にありがとうございました。

39 期幹事 岸田安寿香



告知

40期生「まほろばの会」開催について

～ 2026 年 2 月 21 日（土）午後 食堂（現：コミュニティルーム）に集合～

2021 年度に卒業した第 40 期生（三国先生が学年主任）の皆さん、お元気ですか？それぞれの道を歩む中で、どんなことに挑戦しているのでしょうか。ふと、獨協埼玉で過ごした日々を思い出すことはありませんか？

高校生活では、新型コロナウイルス感染症の影響で登校すらままならず、多くの学校行事も中止となってしまいました。あのときできなかったことを、今こそ取り戻しましょう。懐かしい仲間と再会し、語り合い、笑い合う時間を共に過ごしませんか？

皆さんの参加を心よりお待ちしております。もちろん、三国先生をはじめ、先生方にも参加していただく予定です。

ぜひ、「まほろばの会」でお会いしましょう！

「まほろば」とは、「古き良き場所」や「心のふるさと」を意味します。

あの頃と同じ場所、獨協埼玉の食堂で、皆さんをお迎えします。

40 期生のみんな、「まほろば」で再会しましょう！



2021 年度 高校第 3 学年教員



2018 年度 中学第 3 学年教員

教育実習を終えて

●石川 碧嶺

この度は教育実習という貴重な機会をいただき、ありがとうございました。3 週間という限られた期間ではありましたが、実際に生徒と触れ合い、時間を共にする中で教員としての魅力ややりがいを感じました。教壇実習では思い通りにいかないことも多々ありましたが、先生方のご指導を受け、最後は納得のいく形で実習を終えることができました。今回の経験を糧に、今後さらに成長できるよう努めていきます。本当にありがとうございました。

（明治大学農学部生命科学科）

●小島 咲良

この度は、教育実習の機会と貴重な時間をいただき、誠にありがとうございました。3 週間の実習を通して、生徒の成長に

寄り添う喜びや教えることの難しさを実感しました。保健体育では、知識の定着に加え、体を動かす楽しさや協力の大切さを伝えることを意識しました。生徒の真剣な姿勢から私自身も多くの学び、教師としての責任とやりがいを改めて感じました。今後も、生徒の心と体の成長を支える教師を目指して努力してまいります。

（日本体育大学体育学部健康学科）



第28回 同窓会総会・懇親会開催

今年は6月28日(土)に第28回同窓会・懇親会が開催されました。

総会では、事業・会計報告、役員人事、令和6年度事業計画・予算案などが承認されました。その後、懇親会では小栗先生、長沼先生、中山郁雄先生、林茂樹先生、古田先生、ラウリー先生など、多くの退職された先生方に参加していただきました。先生方には退職されてからの生活についてお話を頂き、大変盛り上がりしました。その他、久しぶりに学校へ来られた卒業生も参加していただき懐かしい話に花を咲かせていました。今後も、年齢に関係なく様々な卒業生が交流できるような行事になればと思います。是非、総会や懇親会に足をお運びください。

同窓会 HP は
こちら



役員・幹事一覧は
こちら



決算・予算報告

令和6年度 同窓会決算書

R6年4月1日～R7年3月31日

収入の部		支出の部	
前年度繰越金	39,817,695	総会・懇親会ハガキ費	878,490
終身会費卒業生	3,360,000	総会・懇親会費	728,750
終身会費既卒生	10,000	会報作成費	370,260
総会・懇親会会費	352,000	会報発送費	1,394,397
利息	11,539	名簿データメンテナンス費	21,945
		HP関連費(2023年度-2024年度)	52,800
		蛙鳴祭パンフレット・ポスター費	38,412
		卒業証書フォルダー費	487,200
		慶弔費(花束)	6,600
		幹事会費	49,000
		振込手数料	4,070
		次年度繰越金	39,519,310
収入計	43,551,234	支出計	43,551,234

令和7年度 同窓会予算(案)

収入の部		支出の部	
R6年度より繰越金	39,519,310	会報費	1,900,000
44期生 終身会費	3,600,000	幹事会費	100,000
		総会・懇親会ハガキ費	900,000
		蛙鳴祭パンフレット・ポスター費	40,000
		卒業証書フォルダー費	500,000
		同窓会データメンテナンス費	30,000
		HP関連費	30,000
		慶弔費(花束)	15,000
		予備費	39,604,310
		支出計	43,119,310
収入計	43,119,310	支出計	43,119,310

未来への懸け橋

Brücke in die Zukunft
ブルッケ ツークンフト

2025年度
プログラム
(予定)はこちら

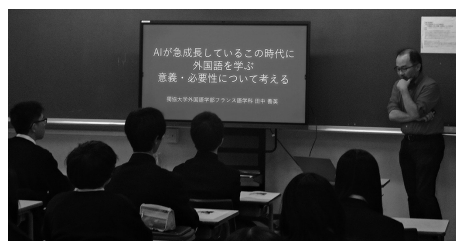


「なぜだろう?」「もっと知りたい!」生徒たちの学びに対する知的好奇心を刺激する機会として、大学の先生による特別講座、職業人講話、大学訪問などを「未来への懸け橋プログラム」として実施しています。

通常の授業ではできない学びの機会を得ることで、学問に対する興味関心をもち、自分と向き合い、将来を考えるきっかけになればと考えています。

2025年度は、併設校である獨協大学4学部(外国語・国際教養・経済・法)の特別講座、獨協医科大学見学会、理科実験講座などを実施します。また、さまざまな分野で活躍されている本校卒業生の方々にもご協力いただき、特別講座を実施する予定です。

これらの機会が生徒たちの“未来”につながるものになればと思います。



獨協大学 外国語学部 田中善英教授

第21期ホームカミングデー報告

2024年10月12日、本校にて第21期ホームカミングデーが盛大に開催されました。約70名の卒業生が恩師の先生方をお迎えし、懐かしい顔ぶれが集う温かい一日となりました。

当時を振り返る「あの日のどったまクイズ」では、懐かしい写真や出来事に会場から大きな歓声と笑いが上がりました。また、恩師の先生方からのお話には、皆が真剣に耳を傾け、温かい拍手が送られました。そして会の最後では、岸本先生の指揮のもと、参加者全員で校歌を斉唱。卒業から十数年が経っても変わらない、恩師や旧友との深い絆と温かい想いがそこにはありました。

二次会も、幹事の皆さんの趣向を凝らした様々な企画で大いに盛り上がりしました。特にビンゴ大会では、当時の部活ジャージや体育祭・文化祭の写真、先生方からの寄せ書きといった、懐かしさあふれる景品の数々に、会場からは喜びの声が響き渡りました。幹事の皆さんの企画力と素晴らしい運営には、ただただ驚かされるばかりです。二次会から参加された方も、久しぶりの旧友との再会を喜び、尽きることのない昔話や近況に花を咲かせていました。

参加者の皆さんからは「次は3年後か5年後に!」という声が

上がり、次回の開催への期待感が募りました。今回残念ながら参加できなかった方々も含め、今後もそれぞれの旧交を温めながら、笑顔で再会できる日を楽しみにしています。

最後に、心身のご負担もある中で私達のためにご足労くださいました恩師の先生方、様々な事情の中でも参加して下さった21期の皆様、そして約1年前から準備を始め、このような有意義な会を創り上げて下さった幹事の皆様に、心より感謝申し上げます。そして、このような素晴らしい会を代々続けて下さっている獨協埼玉高校の先生方と同窓会の皆様、ありがとうございました。

(21期 佐藤高士)



S60.S61年
生まれ

祝! 2nd成人式!

22期生ホームカミングデー開催!!

ホームカミングデーとは、40歳を迎える学年が母校に集まり、恩師や旧友と再会するイベントです。今年度は10月11日(土)に開催いたします。久しぶりに懐かしい仲間たちに会える貴重な機会ですので、ご都合のよい方はぜひご参加ください。



INFORMATION

入試

中学入試

- ◆募集 男女 160 名
- ◆学校説明会 第1回 9月21日㊥ 10:00～
第2回 10月19日㊥ 10:00～
第3回 11月16日㊥ 10:00～
第4回 12月21日㊥ 10:00～
- ◆入試 第1回 1月11日㊥
第2回 1月12日㊥
第3回 1月17日㊥

※第1回は本校と外部会場の2会場で実施

高校入試

- ◆募集 男女 160 名
- ◆学校説明会 第1回 9月21日㊥ 13:30～
第2回 10月19日㊥ 13:30～
第3回 11月16日㊥ 13:30～
第4回 12月21日㊥ 13:30～
- ◆入試 単願・第1回併願 1月22日㊥
第2回併願 1月23日㊥



同窓会からお願い

- 1 同窓会運営に関するご意見がありましたら、上記の理事・事務局・幹事までご連絡ください。またできる限り、総会に出席していただき、その場で意見を寄せていただければ幸いです。よろしくお願いします。
 - 2 住所などで変更がございましたら、獨協埼玉高等学校同窓会までお知らせください。
 - 3 同窓会は、同窓会活動を遂行する上で取得させていただいた皆様の個人情報を適切に保護し、会報、同窓会が主催協力する行事等の開催案内の送付、学校で保有する卒業生データベースの補完のための情報提供に、これらの情報を利用します。
- ※なお、情報の提供に同意されない方は、事務局まで届け出ください。
※最近、同窓会を名乗り、電話で個人情報を聞き出そうとしている団体があるようです。本同窓会では、電話での問い合わせは一切しておりませんので、ご注意ください。